

祝 第73回「電波の日」総務大臣表彰受賞

加納 隆先生

(滋慶医療科学大学大学院 客員教授、埼玉医科大学 名誉教授)

「電波の日」の令和5年6月1日に、総務省・情報通信月間推進協議会主催で、電波利用または情報通信の発展に貢献した個人や団体などを表彰する式典が行われた。「電波の日」は、昭和25年に電波法、放送法および電波監理委員会設置法の施行により、電波の利用が広く国民に開放されたことを記念して設けられ、今年で73回目となった。

その表彰において、加納 隆先生(滋慶医療科学大学大学院 客員教授、埼玉医科大学 名誉教授)が、第73回「電波の日」総務大臣表彰を受賞された。表彰の功績には、「電波環境協議会 医療機関における電波利用推進委員会委員長として、医療関係者向けの電波利用の手引きの策定等で中心的な役割を果たし、積極的にその周知啓発に取り組む等適正な電波利用の推進に多大な貢献をした」と記されている。



加納 隆先生(右) 表彰状授与の様子

《受賞コメント》

令和5年6月1日に、第73回「電波の日」総務大臣表彰を受賞しました。

私が国の電波行政と関わりをもったのは、平成9年に不要電波問題対策協議会(現在は電波環境協議会)から出された「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」の作成に向けた調査メンバーに臨床工学技士として加わったことが最初でした。それから四半世紀が過ぎたわけですが、この間に携帯電話等による医用電気機器への影響の問題から、病院内で使用される医用テレメータや無線LANなどの電波利用機器を安心・安全に使用するためにはどうすればよいかというテーマへと推移してきました。

本誌の特集でもこれらのテーマをたびたび取り上げてきましたが、病院内の電波管理は臨床工学技士の重要な業務の一つであると考えていただきたいからにはほかなりません。今回の受賞を機に、2023年2月号の特集「ここまで来た!病院内電波管理」などを読んでいただければ幸いです。(加納 隆)

参照: 総務省: 令和5年度「電波の日・情報通信月間」における表彰

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin10_02000071.html

2023年2月号特集「ここまで来た!病院内電波管理」

編集責任: 加納 隆

「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き(改定版)」の改定内容や感染症対策としての医用テレメータの運用管理、医用テレメータの電波管理システム、ポストPHS自営無線システム、ローカル5Gなど、病院内電波管理の最前線がわかる。

